

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 消化器内科 白鳥安利

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器内科 白鳥安利

消化管腫瘍性病変に対するハサミ型ナイフを用いた内視鏡的 粘膜下層剥離術の有用性に関する検討

1.研究の対象

2019年1月～2020年6月に当院で消化管腫瘍に対し内視鏡治療*をうけられた方
※ハサミ型ナイフ (SBknife Jr.2)を用いた内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)

2.研究の目的・方法

ハサミ型ナイフ (SBknife Jr.2) は操作性が良く、止血効果の優れた構造をした、新しく開発された内視鏡機器です。ハサミ型ナイフの使用により治療成功率や穿孔・出血などの合併症低減など、臨床的有用性がえられるかを調査します。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録 (カルテ) に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年12月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、病歴、内視鏡治療の安全性 (穿孔など)、副作用等の発生状況、 等